Panasonic®

取扱説明書

パーソナルコンピューター

品番 CF-82 シリーズ

Panacom

LC W

XP

本書以外のマニュアル

- 画面で見るマニュアル
  コンピューター本体に保存されています。起動のしかたについては18ページを参照してください。
  - 操作マニュアル
    本機をより活用するための拡張方法などについて説明しています。
  - Windowsのヘルプ
    Windowsの操作や各機能について説明しています。

上手に使って上手に節電

もくじ

お使いになる前に

操作の方法

困った時は

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」（2〜4ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
  お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

本機を改造しない また、分解しない

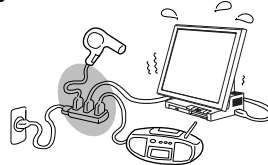
分解禁止

⚠警告
高電圧に注意
本体を分解・
改造しない

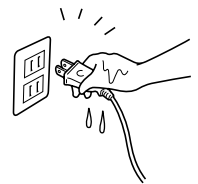
［本体に表示した事項］

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

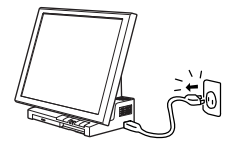
コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

拡張ボードなどを着脱するときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

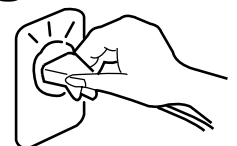
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

本機の上に水などの液体が入った容器や金属物を置かない

禁止

水などの液体がこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠警告

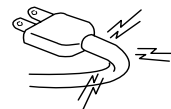
異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

・本体が破損した
・本体内に異物が入った
・煙が出ている
・異臭がする
・異常に熱い

などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

〈傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない〉

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

雷が鳴りはじめたら、本機やケーブルに触れない

感電の原因になります。

⚠注意

不安定な場所に置かない

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

ふとんや毛布などをかぶせたまま使用しない

内部に熱がこもり、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

⚠注意

LANコネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない

禁止

LAN コネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 100 BASE-TX、10 BASE-T以外のネットワーク
- 電話回線（一般電話回線、内線電話回線（構内交換機）、デジタル公衆電話など）

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

<CD ドライブ内蔵モデルのみ>

CD ドライブの内部をのぞきこまない

禁止

内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。

- 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

ひび割れたり変形したりしたディスクは使用しない

禁止

高速で回転するため、飛び散ってけがの原因になることがあります。

- 円形でないディスクや、接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので、使用しないでください。

本装置はレーザ利用機器です。

ご注意- ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザ放射の被曝をもたらします。分解や修理は行わないでください。

クラス1レーザ製品

表記について

Enter	キーボードのEnterキーを押すことを意味します。
Ctrl + Esc	キーボードのCtrlキーを押しながら、Escキーを押すことを意味します。
[スタート]-[検索]	画面上の[スタート]をクリックした後、[検索]をクリックすることを意味します。内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。
☞	参照先（本書の参照ページやコンピューター本体に保存されている『操作マニュアル』など）を意味します。

●本書では、一部を除いてフロッピーディスクドライブ・CDドライブが内蔵されたダブルディスプレイモデルを基本に説明しています。（フロッピーディスクドライブ・CDドライブを内蔵していないモデル、およびシングルディスプレイモデルをお持ちの方には、一部該当しない説明があります。）

●本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。制限付きアカウントのユーザーで実行できない機能があったり、画面表示が本書と違ったりする場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンして、操作してください。

●別売りの商品について
本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

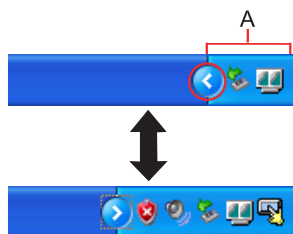
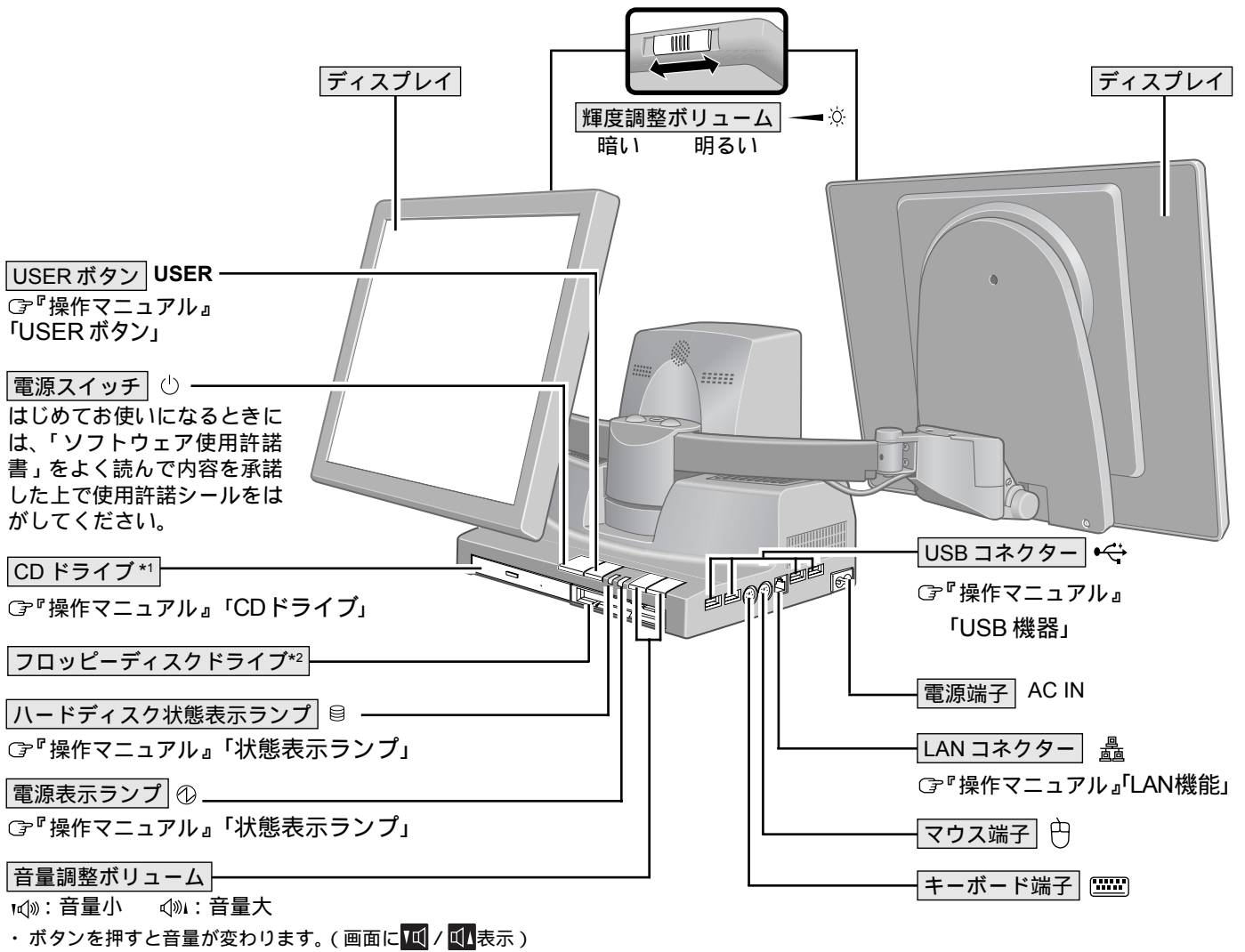
●本書では、「Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」を「Windows」または「Windows XP」と表記します。

●本書で説明しているタスクトレイ（A）内のアイコンが隠れて表示されていない場合は、 を選んですべてのアイコンを表示させてください。

お使いになる前に

各部の名称と働き

：音量小　：音量大

・ ボタンを押すと音量が変わります。（画面に／表示）

*1 CD ドライブ内蔵モデルのみ

*2 フロッピーディスクドライブ内蔵モデルのみ

シリアルコネクター

PC カードスロット

☞『操作マニュアル』「PCカード」

通風孔

⚠注意

通風孔をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります

セキュリティロック LOCK

Kensington社製のセキュリティ用ケーブルを接続することができます。
接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。

（底面）
RAM モジュールスロット

☞『操作マニュアル』「RAMモジュール」

パラレルコネクター

☞『操作マニュアル』「プリンター」

オーディオ出力端子

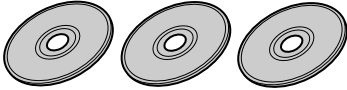
市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。ヘッドホンまたはスピーカーを接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

マイク入力端子

コンデンサー型モノラルマイクロホンの 2 極プラグタイプと 3 極プラグタイプが使用できます。それ以外を使用すると音の入力ができなかったり、故障の原因になります。

<シングルディスプレイモデル>

外部ディスプレイコネクター 1

☞『操作マニュアル』「外部ディスプレイ」

はじめて使うとき

お買い上げになってからはじめてWindowsの操作を始めるまでの操作手順を説明します。

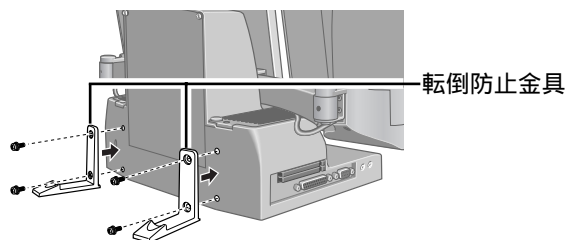
1 付属品を確認する

コンピューター本体以外に以下の部品が付属しています。
万一、足りない場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

電源コード 1本	マウス 1個
（AC 100 V用）	
プロダクトリカバリーCD-ROM*1 .... 3枚	**キーボード** 1個
印刷物	**ダブルディスプレイモデルのみ**
●取扱説明書（本書）　● Windows マニュアル ●保証書（梱包箱に貼り付けられています。） ●保証期間延長依頼書	●転倒防止金具 .... 2個 ●ネジ 4個

*1 CDドライブ内蔵モデルのみ

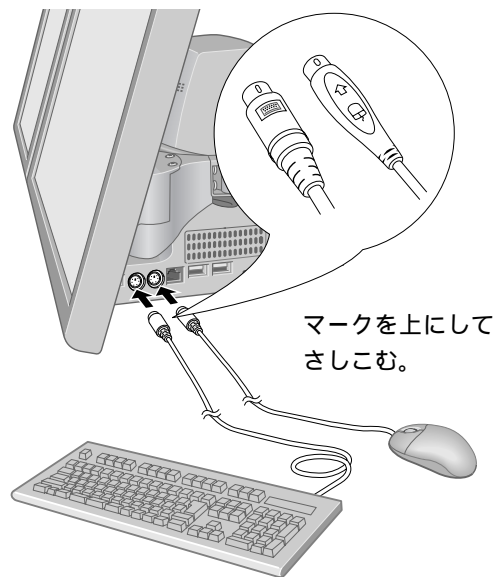
2 <ダブルディスプレイモデルのみ>
本体背面に転倒防止金具を取り付ける

付属のネジ（4個）でしっかりと取り付けてください。

3 ケーブルを接続する

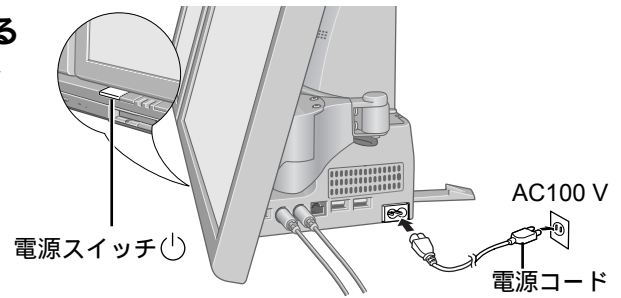
付属のマウスおよびキーボードを接続してください。

お願い

- テレビ、ラジオ、無線機や強い磁界を発生する装置の近くで使用しないでください。
- 水平で安定した場所に設置してください。
- 油煙やたばこの煙の多いところには設置しないでください。CDドライブのレンズの寿命が短くなることがあります。*2
- 無理に押し込まないでください。また、回しながら挿入しないでください。

*2 CDドライブ内蔵モデルのみ

4 ソフトウェア使用許諾書（☞ 38ページ）に同意する

（☞ 38ページ）

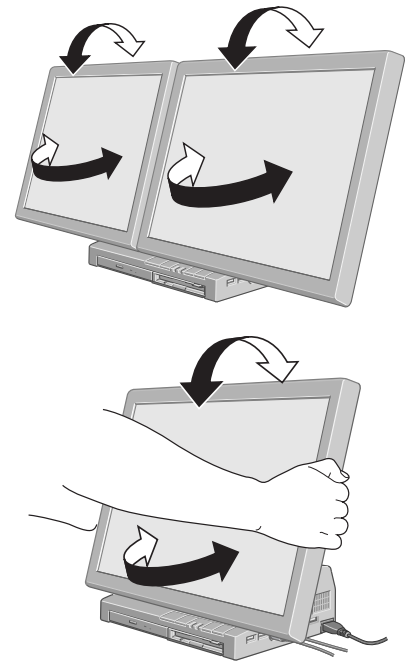
電源スイッチの上に貼られたシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。

5 電源コードを接続する

6 画面の角度を調整する

キーボードを本体から離して、ディスプレイを持って見やすい角度に調整してください。キーボードを近づけていると、ディスプレイがキーボードにあたって調整しにくい場合があります。

お願い

- ディスプレイと台座の接続部を持ったり、すき間に指を入れたりしないでください。また、ディスプレイ下部にも指を入れないでください。角度を調整するとき、指を挟むおそれがあります。
- ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ*1、CDドライブ*1のアクセスランプ点灯中は、画面の角度を調整しないでください。
- ダブルディスプレイモデルの場合、手順*10*のWindows Updateが終わるまで、画面を縦長に回転させないでください。

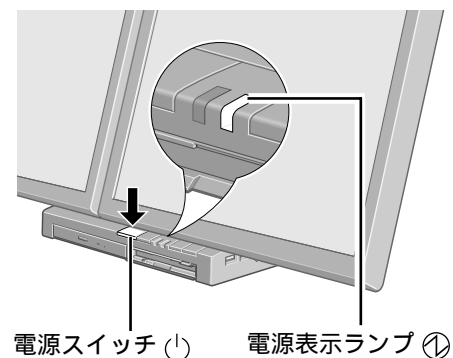
*1 フロッピーディスクドライブ・CD ドライブ内蔵モデルのみ

7 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間押したままにし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから手を離します。

お願い

- 電源表示ランプが点灯したことを確認した後、Windowsのセットアップが完了するまでは、電源スイッチに触れないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで 10 秒以上あけてください。

お知らせ

工場出荷時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと画面が消えます（電源表示ランプは緑色に点灯）。
この場合、マウスかキーボードの操作を行うと画面が元の状態に戻ります。
Windowsのセットアップ中やアプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（Ctrl やShift など）を押してください。

8 Windows をセットアップする

カーソル(⇖)の移動やボタンなどの選択（クリック）には、マウスを使います。（☞ 17ページ）

お願い

「Windows XP セットアップウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、マウスを動かしたりしないでください。

①「Windows XP セットアップウィザードの開始」画面で［次へ］を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、［次へ］を選ぶ。

お知らせ

● 「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域と言語のオプション」画面で正しい地域を設定して［次へ］を選ぶ。（工場出荷時は日本に設定されています。）
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、［次へ］を選ぶ。（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面で、コンピューター名とパスワードを入力して、［次へ］を選ぶ。

お願い

● 設定したパスワードはメモに残すなどして忘れないようにしてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。（☞ 12ページ）
● ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows起動後、［スタート］-［コントロールパネル］-［ユーザーアカウント］で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻、タイムゾーンを設定して［次へ］を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。

お知らせ

● 手順⑦の画面が表示されるまで数分程度かかることがあります。キーやマウスなどを操作せずにそのままお待ちください。

⑦ 手順⑤でパスワードを設定した場合、そのパスワードを入力して➡を選ぶ。
ハードディスク状態表示ランプ（▤）が消えるまでお待ちください。

お知らせ

● Windowsのセットアップが完了すると
・「コンピューターが危険にさらされている可能性があります」というメッセージが画面の右下に表示されますが、続いて次の手順に進んでください。これは、［コントロールパネル］の［セキュリティセンター］機能が表示しているメッセージで、エラーなどのメッセージではありません。［セキュリティセンター］については、21ページをご覧ください。

9 新しいユーザーアカウントを作成する。

① [スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]を選んで、[新しいアカウントを作成する]を選ぶ。
② アカウント名を入力して、[次へ]を選ぶ。
③ [コンピュータの管理者]を選び、[アカウントの作成]を選ぶ。
- 最初に作成するユーザーアカウントは「コンピューターの管理者」以外選べません。

④ パスワードを設定する。
- 本機を複数の人で使う場合、自分用のアカウントにパスワードを設定しておくことをおすすめします。
- パスワードを設定する場合は、パスワードを設定するアカウントを選んでから[パスワードを作成する]を選び、画面に従ってパスワードを入力して、[パスワードの作成]を選びます。
  - 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。
    あらかじめパスワードリセットディスクを作成しておくことをおすすめします。（☞ 12ページ）
    パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。

⑤ [スタート]-[終了オプション]-[再起動]を選んでコンピューターを再起動する。
⑥ 「ようこそ」画面で、作成したユーザーをクリックしてログオンする。
- パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して➡を選んでください。
- 「ようこそ」画面には作成したユーザーアカウントのみが表示され、Windowsのセットアップ時に入力した「Administrator」のアカウントは表示されません。

お知らせ

●新しいユーザーアカウント作成する場合
・メールの設定やパスワードリセットディスク（☞ 12ページ）などの各種操作を行ってからユーザーアカウントを作成すると、それまでのメールの履歴や設定内容が使用できなくなります。
・最初に追加するユーザーアカウントは「コンピュータの管理者」のアカウントになります。
「コンピュータの管理者」のアカウントを作成すると、以降、制限ユーザーのユーザーアカウントが作成できるようになります。

10 インターネットに接続できる場合は、Windows Update（☞ 21ページ）を行う。

お知らせ

- 画面右下に表示される「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」のメッセージは、Windows XPの「セキュリティセンター」機能が表示しているメッセージで、エラーや故障のメッセージではありません。
- 画面上の文字やアイコンが小さくて見にくい場合（フォントサイズ拡大）
  ① [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]を選ぶ。
  ② [フォントサイズ拡大]を選び、「大きいサイズ」または「特大のサイズ」を選んで、[OK]を選ぶ。
  ・画面上の文字やアイコンなどが拡大表示されます。
  ・[フォントサイズ拡大]は、ユーザーアカウントごとに設定できます。

● はじめて使うときの操作はこれで完了です。

Windows XP について

Windows の設定、インストールしているアプリケーションソフトやドライバーによって、Windows のメニューや表示が本書と異なったり、一部の機能（パスワードリセット機能など）が動作しない場合があります。

ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する

[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]-[ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する]で「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、起動時および終了時の操作が以下のように異なります。

「ようこそ画面を使用する」の設定	起動時の操作	終了時の操作
チェックマークを付けている場合	ユーザーの名前のリストが表示され、ログオンしたいユーザー名を選ぶ。	[スタート]-[終了オプション]-[電源を切る]を選ぶ。
チェックマークを付けていない場合	ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選ぶ。	[スタート]-[終了オプション]-[シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。

●「ユーザーの簡易切り替えを使用する」
この設定にチェックマークを付けていると、複数のユーザーがコンピューターを使用している場合、ログオンし直さずに別のユーザーに切り替えることができます。「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けていない場合やネットワークのドメインに参加している場合などは、この機能は使えません。また、アプリケーションソフトによっては、この機能を使うとコンピューターが正しく動作しない場合があります。
本書では、チェックを付けている場合の手順で説明します。

パスワードリセット機能について

Windowsのログオンパスワードを忘れてしまったときのために、現在のパスワードを解除して新しくパスワードを設定するパスワードリセット機能があります。この機能を使うには、以下の手順に従ってパスワードリセットディスクを作成しておいてください。

● フロッピーディスクドライブを内蔵していないモデルの場合は、別売りの USB フロッピーディスクドライブ（品番：CF-VFDU03JS）を本機に接続のうえ、以下の操作を行ってください。

1 [コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]を選び、「変更するアカウントを選びます」の中からログオンしているアカウントを選ぶ。
2 [関連した作業]の「パスワードを忘れないようにする」を選ぶ。以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成してください。
  ・作成したディスクは大切に保管してください。
  ・パスワードリセットディスクで解除できるのは、アカウントごとのログオンパスワードです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。

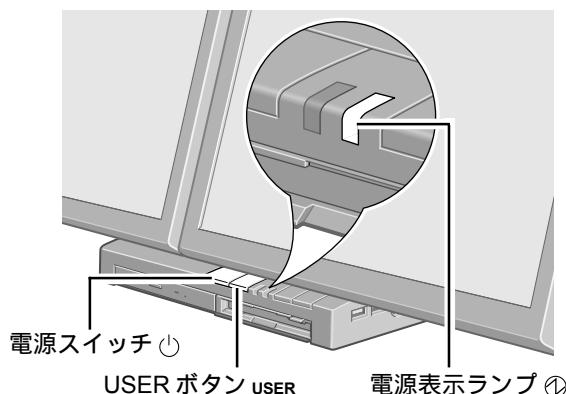
操作を始める／終わる

操作を始める

1 電源を入れる

以下の2とおりの方法があります。

- 電源スイッチを約1秒間押したままにし、電源表示ランプが点灯したことを確認してから手を離す。
- USER ボタンを押す。Windows 起動後、USER ボタンに登録してあるアプリケーションソフトが起動します。
  （☞『操作マニュアル』「USERボタン」）

お願い

- 電源表示ランプが点灯したことを確認した後、Windowsが完全に起動するまでは以下のことを行わないでください。
  - ・電源スイッチおよび USER ボタンを押す。
  - ・キーボード、マウスを操作する。
- USER ボタンで電源が入らない場合は、電源スイッチを押してみてください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。

●起動するデバイスを選択する

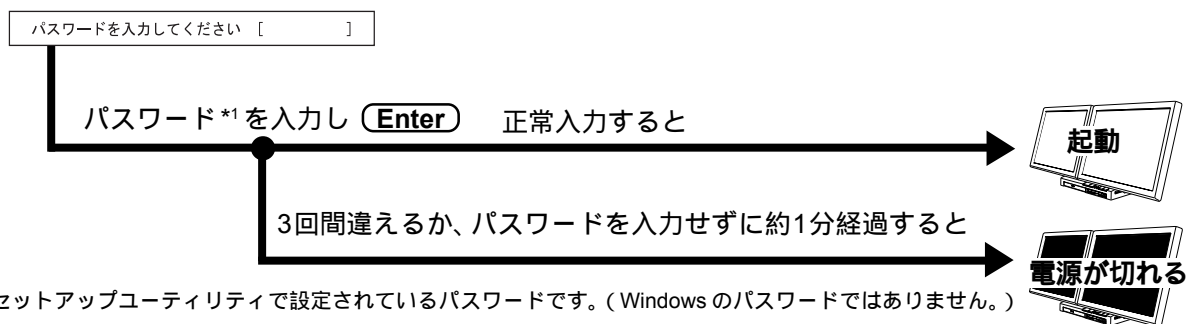
起動するデバイスの選択は、コンピューター起動時に行います。

1 電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されているときに Esc を押す。
パスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定している場合、パスワードの入力が必要です。

2 メニューから起動するデバイスを選び、Enter を押す。

- ・選択したデバイスから起動できない場合、または起動時に起動デバイスを選択しなかった場合は、セットアップユーティリティの「起動」メニューの設定順で起動します。（☞『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」）
- ・以降の手順は、オペレーティングシステムをハードディスクから起動した時の手順です。CD ドライブまたはフロッピーディスクドライブからの起動は、それぞれの手順に従ってください。

● 画面に 「パスワードを入力してください」と表示されたら ...

本機のセキュリティのため、パスワードが設定されています。（☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

*1 セットアップユーティリティで設定されているパスワードです。（Windows のパスワードではありません。）

操作を始める／終わる

●操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら ...

前回操作を終えたとき表示していた画面です。「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使って操作を終わると、電源を入れたとき、すぐに操作を再開することができます。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）

2 Windowsにログオンする。

ハードディスク状態表示ランプ（⊜）が消えてから、ユーザーを選びます。
・パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して ➔ を選んでください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。

ここでの操作は、「ようこそ画面を使用する」の設定により異なります。（☞ 12ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）

3 操作をする。

各種アプリケーションソフトなどを起動し、操作を始めてください。

お知らせ

- お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。
  この場合、キーボードやマウスの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
  アプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（ Ctrl や Shift など）を押してください。
- 前回操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら...
  スタンバイ・休止状態と呼ばれる機能（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）を使って操作を終わると、前回操作を終えたときに表示していた画面が表示され、すぐに操作を再開することができます。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、画面の設定ができなくなる場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、すべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。

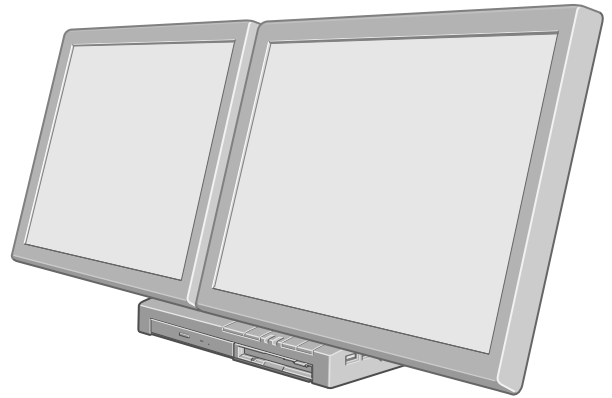
＜ダブルディスプレイモデルのみ＞

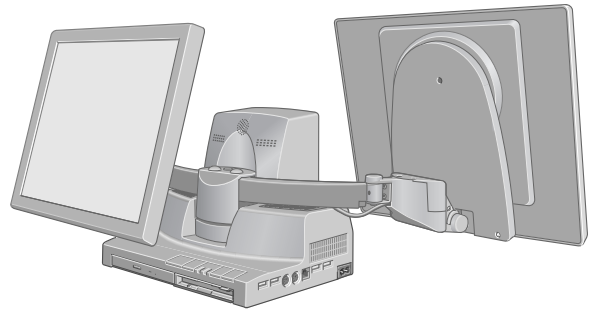
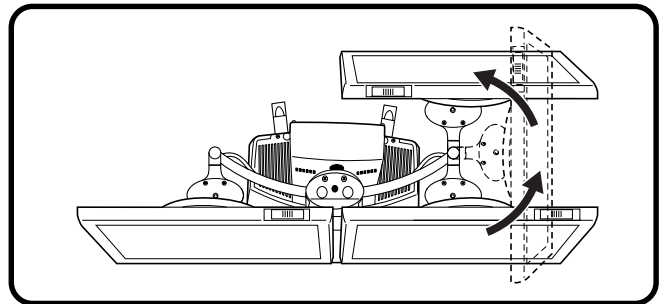
- 以下の場合、右側のディスプレイが左側のディスプレイよりも遅れて点灯することがあります。
  ・省電力のため表示が消えていたディスプレイが、再び点灯する場合
  ・スタンバイ・休止状態から操作を再開した場合

<ダブルディスプレイモデルのみ>

ダブルディスプレイをセッティングする

●並列セッティング

こんなときに便利
・一度に複数のウィンドウを開けて操作するとき
・ワイドな画面を表示するとき
など

●対面セッティング

片方のディスプレイを180度回転させてセッティングすることができます。
こんなときに便利
・対面業務のとき
　操作する人と対面している人で、別々の画面を表示しながら説明できます。
・数人で同じ画面を見るとき
　操作する人で画面が見えない場合、一方を操作する人用、もう一方を見る人用にすれば、見やすくなります。

同じ画面を表示させたいとき
・以下の操作を行えば、操作する人の画面と対面している人の画面に、同じ画面を表示させることができます。

お知らせ

●左右どちらか一方（または、両方）のディスプレイを縦長にした状態では、同じ画面を表示させることはできません。
●左右どちらか一方（または、両方） のディスプレイを縦長にしていると、[デバイス]の表示はされません。

1 [スタート]-[コントロールパネル]を選び、左側の[関連項目]の[コントロールパネルのその他のオプション]-[Intel(R) Extreme Graphics 2 M]-[デバイス]を選ぶ。
2 [Intel(R) Dual Display Clone]で[OK]を選び、[デスクトップ変更の確認]で[OK]を選ぶ。

通常の画面に戻すときは

1 [スタート]-[コントロールパネル]を選び、左側の[関連項目]の[コントロールパネルのその他のオプション]-[Intel(R) Extreme Graphics 2 M]-[デバイス]を選ぶ。
2 [拡張デスクトップ]を選び、[OK]を選び、[デスクトップ変更の確認]で[OK]を選ぶ。

ディスプレイのセッティングにあわせて、動作環境の設定（☞『操作マニュアル』「ダブルディスプレイ」）を行ってください。

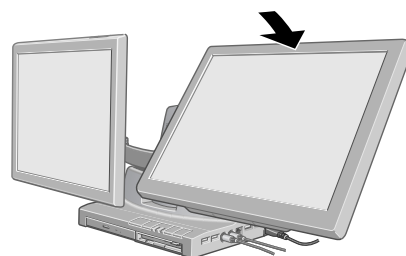
操作の方法

ディスプレイを回転させる

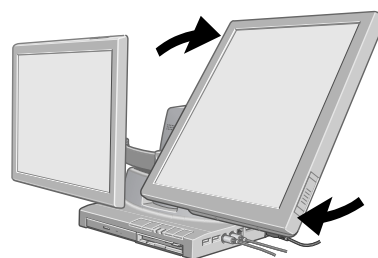
ダブルディスプレイモデルでは、Windows起動後に電源オン時のディスプレイの向きにあわせて、自動的に画面表示の向きが変わります。電源オンした後にディスプレイを回転させても、画面表示の向きは変わりません。

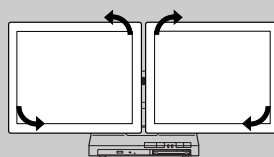
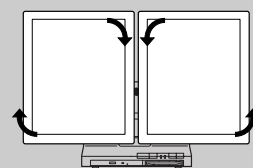
お知らせ

- ディスプレイを縦長にしていると、画面が正しい向きで表示されない場合があります。
  - ・Windowsが起動していない状態（電源オン直後、セットアップユーティリティの画面、ログオン画面など）
  - ・コマンドプロンプトを最大化表示した場合
- ディスプレイを回転させて電源を入れると、次の起動時にWindowsのログオンの画面が正しい向きで表示されません。ログオンが完了すると、正しい向きで表示されます。

1 ディスプレイを後ろに傾ける

2 ディスプレイを回転させる

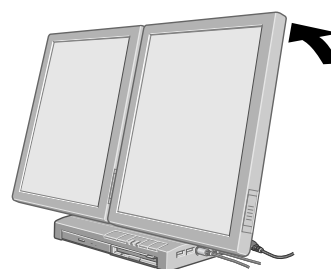
お知らせ

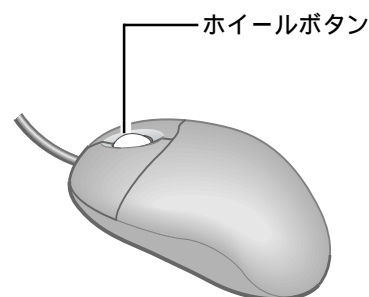
ディスプレイを縦長にすると、ウィンドウの位置や大きさが変わったり、マウスカーソルの位置が移動したりする場合があります。必要に応じて位置を調整してください。ウィンドウが見えなくなった場合は、ディスプレイを元の角度に戻してウィンドウの位置を調整した後、再度ディスプレイを回転させてください。

お願い

ディスプレイは、右図の方向にしか回転しません。逆方向に回転させようとしないでください。

横長から縦長への回転

縦長から横長への回転

3 ディスプレイを元の角度に戻す

お知らせ

ディスプレイを縦長にしていると、左右両方のディスプレイに同じ画面を表示させることはできません。
（☞ 15ページ）

マウスを使う

マウスの操作には、「クリックする」「ダブルクリックする」「ドラッグする」の3種類の基本操作があります。また、マウス中央のホイールボタンでスクロールやオートスクロールなどの機能が使えます。
通常は左ボタンを使います。操作やアプリケーションソフトによっては、右ボタンを使う場合もあります。

操作を終わる（電源を切る）

スタンバイまたは休止状態機能（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）を使わずに操作を終わります。

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する

2 終了画面を表示する

［スタート］-［終了オプション］を選ぶ。（☞ 12ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）

3 終了を確認し、電源を切る

[電源を切る]を選ぶ。

● **電源を切らずに、起動し直したい（再起動）**

[再起動]を選ぶ。

お願い

- 終了処理が行われている間は、以下のことをしないでください。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、マウスに触れる。

お知らせ

- キーボードを使って電源を切るには
  (Windows)、(U) の順に押し、(→)(←)(↑)(↓) で[電源を切る]を選んで (Enter) を押す。
- 長期間使用しないときは、節電のため電源コードを抜いてください。電源オフで電源コードを接続している状態では、約1.2 Wの電力を消費します。（☞ 47ページ）
- 次に電源を入れるとき、すぐに操作を再開したい
  「スタンバイ」と「休止状態」と呼ばれる機能があります。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）

操作の方法

画面で見るマニュアル

「操作マニュアル」

「操作マニュアル」は、本機のハードディスクに保存されていて、画面で見ることができます。周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティなど、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。プリンターが接続されていれば、必要なページを印刷することもできます。

もくじ

● **起動のしかた**
　[スタート]-[操作マニュアル]を選ぶ。

はじめて「操作マニュアル」を起動したときは、Adobe Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示される場合があります。その場合は、内容を確認のうえ、[同意する]を選んでください。
Adobe Reader の使い方については、Adobe Reader のヘルプを参照してください。

お知らせ

●表示サイズによっては、イラストが見えにくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
●プリンターに接続している場合は、必要なページを印刷しておくことをおすすめします。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

Windows のヘルプ

Windowsの操作や各機能についての説明を画面で見ることができます。

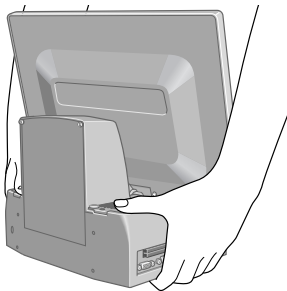
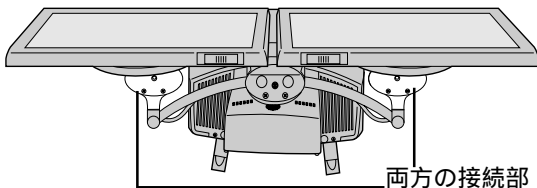
● **起動のしかた**
　[スタート]-[ヘルプとサポート]を選ぶ。

上手にお使いいただくために

使用するとき／保管するとき

- 平らで落下のおそれがない場所
- 使用時の温度 ：5 ℃～35 ℃　　湿度 ：30 %RH～80 %RH（結露なきこと）
  保管時の温度 ：-20 ℃～60 ℃　湿度 ：30 %RH～90 %RH（結露なきこと）
  - 上記温度、湿度の範囲内であっても、低温、高温、高湿度など極端に偏った環境で長期間使い続けると、製品の劣化により製品寿命が短くなるおそれがあります。
- 磁気を発生するもの(磁石、磁気ブレスレットなど)の近くには置かないでください。

持ち運ぶとき

- フロッピーディスクは取り出しておいてください。
- 電源を切り、電源コードを抜いてから持ち運んでください。
- 外部装置、ケーブル、本体から突き出たPCカードはすべて取り外してください。
- 落としたり、机の角など固い物にぶつけないよう注意してください。
- ディスプレイ部だけを持ったり、片手で持ったりしないでください。
  シングルディスプレイの場合 ： ディスプレイ面を手前にし、底面を持ち上げてかかえ込むようにして両手で持ってください。

  ダブルディスプレイの場合 ： アームやディスプレイがネジで固定されていることを確認し、背面側から両方のディスプレイの接続部（イラストで示した部分）を両手で持ってください。
  接続部以外の部分を持つと、バランスが崩れて落下したり、故障したりする場合があります。

ディスプレイの取り扱い

- ディスプレイは衝撃や振動に弱く､破損しやすいため､持ち運びの際には十分ご注意ください。
- カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で製造されていますが､ちょっとした環境変化等で点灯しなかったり､常時点灯したりする画素ができることがあります｡これらの画素が0.002%以下（有効画素が99.998%以上）のものは故障ではありません。あらかじめご了承ください。

操作の方法

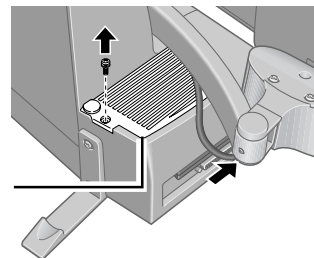
上手にお使いいただくために

お手入れ

●ディスプレイ：　ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

●通風孔内：　通風孔内のアミにほこりやごみなどがたまった場合は、本体の電源を切った後、通風孔カバーを取り外し、通風孔内（アミ部）に付着したほこりを掃除機などで吸い取ってください。
通風孔内にほこりがたまると、本体の冷却機能が落ち、性能が劣化したり故障の原因になる場合があります。定期的にほこりを吸い取ってください。

取り外しかた

通風孔のカバー

●ディスプレイ以外の部分：　水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

●マウス：　画面のマウスカーソルが思いどおりに動かない場合、マウスの中のボールにゴミやほこりが付いていることがあります。このようなときは以下の手順で、マウスのクリーニングを行ってください。

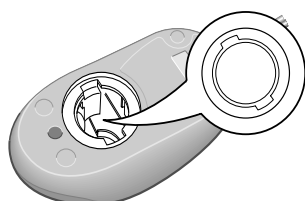
1 マウスを取り外す
本体の電源を切った後、マウスを取り外します。

2 裏側のふたを外して、ボールを取り出す
マウスを裏返して、ふたの2か所の目印を指で押さえながら反時計回りの方向に回してふたのロックを解除します。
マウスを傾けてふたを外し、中のボールを取り出します。

目印

3 ボールを洗い、ふたとローラーをふく
石けんか台所用洗剤（中性）を溶かした温水でボールを洗い、よく水洗いしてから、乾いた柔らかい布でふいて乾かします。
ふたの表面、マウスの中のローラーを乾いた柔らかい布でふきます。

4 ボールとふたをはめ込む
ボールを元どおりにはめ込み、ふたを取り付けて、時計回りの方向に回して固定します。

5 マウスを取り付ける
マウスを元どおりに取り付けます。

セキュリティセンター／ウィルス対策／ Windows Update について

Windowsをコンピューターウィルスなどによる被害から守るため、Windowsセキュリティセンター機能をお使いください。

Windowsセキュリティセンターについて

- Windowsセキュリティセンターとは
  “ Windowsのセキュリティ情報を一元管理する機能 ” で、ウィルス対策などのWindowsのセキュリティ設定がより安全に行われているかを監視します。
  コンピューターウィルスなどによる被害からWindowsを守るため、「Windowsセキュリティセンター」機能をお使いください。
  [スタート]-[コントロールパネル]-[セキュリティセンター]を選ぶと、以下のセキュリティ関連の現在の設定が表示されます。
  - ファイアウォール
    外部ネットワーク（インターネットなど）経由の不正なアクセスからコンピューターを保護するためのセキュリティ機能です。
    外部ネットワークとの間でやりとりされるデータを規制して、認められているデータ以外は通過できないようにする働きをします。
    工場出荷時は、有効に設定されています。
  - 自動更新
    インターネットに接続していれば、セキュリティの更新など、重要な更新が行われているかを定期的に確認し、自動的にインストールして最新の状態にする機能です。
  - ウィルス対策
    ウィルス対策ソフトがインストールされているかどうか、およびウィルス対策ソフトのバージョンが最新かどうかなどを定期的に確認する機能です。

「コンピューターが危険にさらされている可能性があります」と表示されたら

メッセージを読み、画面右下のタスクトレイの（赤色のアイコン）をダブルクリックして、適切な設定を行ってください。
このメッセージは、上記のWindowsセキュリティセンターがセキュリティ関連の設定を定期的に確認し、より正しく設定されるまで表示します。

お知らせ

- このメッセージは、エラーメッセージではありません。メッセージが表示されたままお使いいただくことはできます。ウィルスなどの被害を軽減し、より安全にお使いいただくために適切な対策を行い、このメッセージが表示されないようにすることをおすすめします。

Windows Updateについて

Windowsセキュリティセンターで[自動更新]を有効に設定している場合は、セキュリティの更新など、重要な更新が自動的にインストールされます。手動で更新を行う場合（重要な更新以外の更新を行う場合など）は、以下の手順で行ってください。

1 弊社のホームページ（http://panasonic.biz/pc/support/security/winupdate/）にアクセスして、本機に関するWindows Updateの情報を確認する。
2 Windows Updateを実行する。
  [スタート]-[すべてのプログラム]-[Windows Update]を選ぶ。
  「ドライバの更新」に表示される項目は適用しないでください。ドライバーの更新が必要な場合は、上記のホームページでお知らせしますので、そちらを適用してください。

- 再インストール（☞ 33ページ）した後も必ず[Windows Update]を行ってください。
  インストールされている修正プログラムを以下の方法で確認することができます。
  [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]を選んで、[更新プログラムの表示]にチェックマーク付ける。

上手にお使いいただくために

周辺機器を使用する場合

コンピューター本体、周辺機器、ケーブル等の故障を防ぐため、次の点に注意してください。
また、本書および操作マニュアルとあわせて、使用する周辺機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
・仕様に適合した周辺機器を使用する。
・コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
・接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向き等を確認する。
・固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
・ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

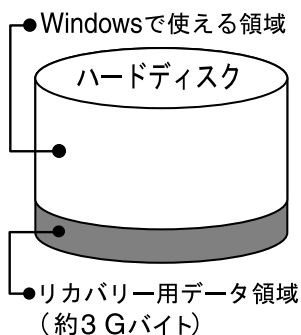
ハードディスクのデータ保護

- コンピューター本体の取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやWindowsおよびアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
- Windowsやアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクドライブ（ ）のランプが点灯中は、電源を切らない。
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]メニューから操作を終了してください。（☞ 17ページ）
- 磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。
  ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。
- ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合(故障／不本意なデータ更新／消失など)に備えて定期的にバックアップをとる。
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。（☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

ハードディスク保護

ハードディスク保護を有効に設定すると、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータが読み書きできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じ設定にしておいてください。（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

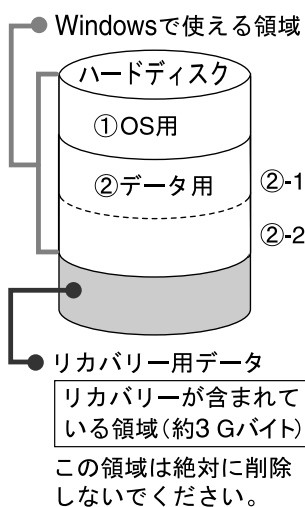
< CD ドライブを内蔵していないモデルのみ >

ハードディスク内のリカバリー用データについて

- ハードディスク内のリカバリー用データは絶対に削除しないでください。
  本機は、再インストール（コンピューターに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに行う）に必要なリカバリー用データをハードディスク内に格納しています。このリカバリー用データは約3 Gバイトあります。
  誤って消去することを防ぐため、リカバリー用データ領域は通常の方法では表示されないようになっていますが、特別な手段を講じて、この領域を削除したり、領域内のデータを削除／変更またはデータを追加したりすると再インストールができなくなります。絶対にこれらの操作を行わないでください。万一、削除してしまった場合などはご相談窓口にご相談ください。（☞ 50ページ）
- リカバリー用データは、他のメディアや外付けのハードディスクなどにバックアップをとることはできません。
- リカバリー用データ領域を通常のドライブとして、使用することはできません。あらかじめご了承ください。
- ハードディスクリカバリーはダイナミックディスク（ディスク管理方式の一種）には対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

操作の方法

ハードディスクのパーティション（領域）を変更する場合

リカバリーが含まれている領域（約3 Gバイト）

この領域は絶対に削除しないでください。

● 再インストールで「OS用とデータ用の2つのパーティションを作成して、OS用パーティションにWindowsを再インストールする」を実行すると、パーティションを2つに分割することができます。「ディスクの管理」を使用すれば、さらに高度な操作を行うこともできます。

OS用として最低限必要なパーティションのサイズは、再インストール時に画面上でご確認ください。

3つのパーティションを作成したい場合は、再インストールでOS用とデータ用の2つのパーティションを作成したあと、Windowsを起動し、「ディスクの管理」を使って2つ目のパーティション（左図②）を削除してから作成してください。

データ用パーティション作成後、再インストールするときは以下の点に気を付けてください。
- 最初のパーティション（① OS 用）に Windows を再インストールする場合：
  ② -1 と② -2 のデータは維持されます。
- 上記以外の方法で再インストールする場合：
  ①および②のデータはすべて削除されます。

ハードディスクバックアップ機能（☞39ページ）を使用する場合、バックアップ領域を作成する前にパーティションを分割すると、バックアップ領域を作成することができません。パーティションの分割は、バックアップ領域を作成するときに行ってください。

<CDドライブを内蔵していないモデルのみ>

● パーティションはOS用も含め、3つまでにしてください。

操作の方法

<フロッピーディスクドライブ内蔵モデルのみ>

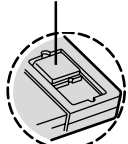
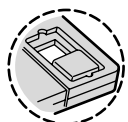
フロッピーディスクのデータ保護

● フロッピーディスクドライブの状態表示ランプが点灯中に電源を切ったり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしない。
フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。

● フロッピーディスクの取り扱いには注意する。
データの破損やフロッピーディスクが本体から取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
- シャッターを手で開けない
- 磁気を帯びたものを近づけない
- 高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
- ラベルを重ねて貼らない

● 一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合はその前に内容を確認する。
フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。

● 書き込み禁止タブ(ライトプロテクトタブ)を使う。
重要なデータを保存している場合におすすめします。書き込み禁止の状態にするとデータの削除や上書き保存を禁止することができます。

ライトプロテクトタブ

書き込み可能な状態

書き込み禁止の状態

コンピューターの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去

最近、コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

・データを「ごみ箱」に捨てる
・「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
・「削除」操作を行う
・ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
・再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このコンピューターのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様がコンピューターを廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録されたすべてのデータを、お客様の責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

データ消去のための専用ソフトウェア・サービスについて：
本機には、ハードディスク内のデータを消去するハードディスクデータ消去ユーティリティが搭載されています。ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。ハードディスクデータ消去ユーティリティについて詳しくは、44ページまたは45ページをご覧ください。

その他、データの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。
＊パナソニックPCのホームページ（http://panasonic.biz/pc/recycle/）
＊パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック））
＊リース、レンタル会社への返却については、リース、レンタル会社の問い合わせ窓口

また、ハードディスク内にお客様がインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

エラーコードが表示されたら

電源を入れたとき、下記のエラーコードやメッセージが表示された場合は、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、または下記以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード／メッセージ	対 処
0211：キーボードエラーです。	● キーボードが故障している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0251：システムCMOSのチェックサムが正しくありません。デフォルト値が設定されました。	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、内容が変更された場合に起こるエラーです。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0271：日付と時刻の設定を確認してください。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ● セットアップユーティリティを起動し、日付と時刻を正しく設定してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0280：起動を3回失敗しました。 ーデフォルト値を使用して起動します。	繰り返し起動に失敗したため、セットアップユーティリティをデフォルト設定に変更して起動しました。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルトの設定（工場出荷時の値）にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
シリアルポート[*1]の設定が変更されました。 シリアルポート[*1]の設定エラーです。 シリアルポート[*1]は使用できません。 [*1] AやBなどが表示され、競合しているポートを表します。	I/Oアドレス、IRQ(割り込みレベル)の設定が競合しています。 ● セットアップユーティリティを起動し、「詳細」メニューで競合しないように設定を変更してください。
<F2>キーを押すとセットアップを起動します。	● エラー内容をメモした後、(F2) を押してセットアップユーティリティを起動してください。設定を確認し、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
Operating System not found	起動しようとしたフロッピーディスクやハードディスクにOSが正しくインストールされていません。 ●フロッピーディスクドライブに起動できないフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。 ●ハードディスクから起動できない場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューでハードディスク（プライマリーマスター）が正しく認識されているか確認してください。 ・ 認識されている場合（「xx GB」と表示）は、再インストールを行ってください。 ・ 認識されていない場合（「なし」と表示）は、ご相談窓口にご相談ください。 ●USBコネクターに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティを起動し、「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。

エラーコードが表示されたら

エラーコード／メッセージ	対 処
増設RAMモジュールエラーです。	● RAMモジュールの取り付けかたを間違えたり、指定以外のRAMモジュールを取り付けたりすると、コンピューターの電源を入れたときにビープ音が鳴り、「増設RAMモジュールエラーです」というメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピューターの電源を切り、RAMモジュールの仕様が指定のものであることを確認し、正しく取り付け直してください。

● セットアップユーティリティの起動方法
1 コンピューターを再起動する。
2 起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に (F2) を押す。

困った時は

困ったときのQ&A

トラブルが発生した場合は、以下の方法を試してください。
操作マニュアルでも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。PC情報ビューアーを使って、コンピューターの使用状態などを確認することもできます。（☞ 32ページ）

●電源を入れたとき

症状	対処
電源表示ランプが点灯しない	●電源コードが、正しく接続されていますか？ ●電源コードを本体から取り外し、接続し直してください。
USB機器を接続していると、本機が起動しない	● 一部のUSB機器を接続していると本機が起動しない場合があります。USB機器を外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。
「パスワードを入力してください」が表示された	● スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。 パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
システム起動エラーが表示された	☞ 25ページ
Windowsの起動および動作が極端に遅い	●セットアップユーティリティを起動してください。 (☞『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」) F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻した後、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。） ●お買い上げ後にインストールした常駐ソフトウェアがある場合は、そのソフトウェアの常駐を解除してください。
日付と時刻が正しく表示されない	● 次の項目を使って訂正してください。 [スタート]-[コントロールパネル]-[日付、時刻、地域と言語のオプション]-[日付と時刻] ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）が消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。
スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、「パスワードを入力してください」が表示されない	● セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。 ① [スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]を選び、変更するアカウントを選んで、パスワードを設定する。 ② [コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]を選び、「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」を選んでチェックマークを付ける。
コンピューターの管理者のパスワードを忘れた	● パスワードリセットディスク（☞ 12ページ）を作成していた場合は、パスワードの入力に失敗すると、メッセージが表示されます。メッセージに従って、パスワードを再設定してください。 パスワードリセットディスクを作成していなかった場合は、再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。

困ったときのQ&A

●電源を入れたとき（つづき）

「Remove disks or other media. Press any key to restart」（または同様のメッセージ）が表示された	● システムを起動できないフロッピーディスクが、フロッピーディスクドライブにセットされたままになっていることを意味します。フロッピーディスクを取り出してから、何かキーを押してください。 ● 一部のUSB機器を接続していると、左記メッセージが表示されることがあります。USB機器を取り外すかセットアップユーティリティの「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。 ● それでも左記メッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
その他の問題が起きる場合	● セットアップユーティリティを起動し、F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ● 周辺機器を取り外してください。 ● 次の手順で、ディスクのエラーチェックを行ってください。 *1* Cドライブのプロパティを表示する。 [スタート]-[マイコンピュータ]の[ローカルディスク(C:)]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選ぶ。 *2* [ツール]から[チェックする]を選ぶ。 *3* [チェックディスクのオプション]で必要に応じて項目を選び、[開始]を選ぶ。 ● 起動時、「Panasonic」起動画面が消えたとき*1に F8 を押し続け、「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら指を離し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。 *1 「起動時のパスワード」を[有効]に設定している場合、「Panasonic」起動画面が消えた後[パスワードを入力してください]が表示されます。パスワードを入力し、Enter を押してすぐに F8 を押し続けてください。

●パスワード入力

パスワードを入力しても、再度入力を求められる	● キーボードがキャップスロックになっている可能性があります。 Caps Lock ランプが点灯している場合は、Shift を押しながら Caps Lock を押してキャップスロックを解除して入力してください。

●画面表示

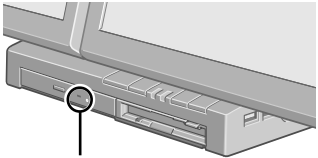
画面が消えた、または画面に何も表示されない	● 省電力機能によって、ディスプレイの表示が消えることがあります。いずれかのキーを押すか、マウスを操作すると元に戻ります。その際、選択に使うキー（ Enter 、Space 、Esc 、Y 、N や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。 ● 省電力機能によって、スタンバイ（電源表示ランプが緑色点滅する）・休止状態（電源表示ランプ消灯）に入ることがあります。 その場合、電源スイッチを押すと元に戻ります。
残像が現れる	● しばらくイメージを表示させていると、残像となることがあります。別の画面が表示されると残像は消えます。
マウスカーソルが動かない	● マウスを正しく接続し、キーボードで操作してコンピューターを再起動してください。 キーボードを使って再起動するとき (Windowsキー) 、U の順に押し、R で[再起動]を選んでください。 ● キーボードで操作できない場合は、「応答がない」をご覧ください。 （☞ 31ページ）

●画面表示

画面に緑、赤、青のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	● しばらくイメージを表示させていると、残像となることがあります。別の画面が表示されると残像は消えます。 ● カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（緑、赤、青色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
画面が乱れる	画面の色数を変更した場合は再起動してください。
タスクトレイのアイコンが隠れて見えない	● タスクトレイのを選ぶと、隠れていたアイコンが表示されます。 ● 常にすべてのアイコンを表示しておきたい場合は、タスクバーを右ボタンで選び、[プロパティ]を選んで、[タスクバー]の[アクティブでないインジケータを隠す]のチェックマークを外してください。

●画面表示＜シングルディスプレイモデルのみ＞

電源を入れた後、外部ディスプレイの画面に何も表示されない	● 外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ● 外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ● 外部ディスプレイは正しく設定されていますか？
外部ディスプレイに正しく表示されない	● 外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合、省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
文字やアイコンを拡大表示したい	●「フォントサイズ拡大」を使って、アイコンなどの大きさを変更してください。（☞ 11ページ）
外部ディスプレイとコンピューター本体のディスプレイの同時表示に設定しているとき、片方の画面にしか表示されない	● 以下の項目で表示先を変更して試してください。 [スタート]-[コントロールパネル]-[コントロールパネルのその他のオプション]-[Intel(R) Extreme Graphics 2 M]-[デバイス]を選ぶ。 ● [コマンドプロンプト]を起動しているとき、Alt + Enter を押して全画面表示にすると、片方の画面しか表示されません。Alt + Enter を押してウィンドウ表示に戻すと両方の画面に表示されます。

●終了時

Windowsが終了できない	● USB機器を接続している場合は、一度取り外してから試してください。 ● 終了するとき、1～2分程度かかる場合がありますが、そのままお待ちください。 ● プロバイダーへの接続は正しく設定されていますか？ 設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。通信の設定については、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LANは正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 LANの設定については、接続サービス会社(プロバイダー)や会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。 （☞ 『操作マニュアル』「LAN機能」）

●ハードディスクの操作

ハードディスクのデータの読み出しも書き込みもできない	● ドライブやファイルの指定に誤りがないか確認してください。 ● ハードディスクの空き容量は足りていますか？ ● ハードディスクの内容が壊れている場合があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。

困ったときのQ&A

●ディスクの操作<フロッピーディスクドライブ・CDドライブ内蔵モデルのみ>

フロッピーディスクのデータの読み出しも書き込みもできない	●フロッピーディスクは正しくセットされていますか？ ●フロッピーディスクは正しく初期化(フォーマット)されていますか？ ●セットアップユーティリティで、「フロッピー操作」を「有効」に設定していますか？（☞『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」） ●フロッピーディスクが破損していないか確認してください。
フロッピーディスクへの書き込みができない	フロッピーディスクが書き込み禁止になっていませんか？
フロッピーディスクを初期化する方法がわからない	●以下の手順で初期化してください。 ［スタート］-［マイコンピュータ］-［3.5インチFD(A:)］-［ファイル］-［フォーマット］を選び、ディスクの容量やフォーマットの種類を確認して フォーマットを開始してください。 ●1.2 Mバイトおよび720 Kバイトのフォーマットを行うことはできません。
CDでトラブルが発生した	指定の方法（☞『操作マニュアル』「CDドライブ」）で、レンズやCDのクリーニングを行ってください。
アクセスランプが点灯しない	CDは正しくトレイにセットされていますか？
CDの再生や読み出しができない	●CDが変形していたり、傷や汚れが付いていませんか？ ●セットアップユーティリティで、「CD操作」を「有効」に設定していますか？（☞『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」）
突然、MPEG画像が残った青い画面になった	CDドライブから、MPEGのCDを取り出しませんでしたか？ CDをセットして Enter を押してください。
CDドライブの振動が大きい	●変形したCDや、ラベルをはったCDを使用していませんか
CDが取り出せない	コンピューターの電源が入っていますか? 電源が入っていない状態でCDを取り出すには、ゼムクリップを引き伸ばしたものなどをエマージェンシーホールに挿し込んで、トレイを引き出してください。 エマージェンシーホール
1.2 Mバイトフロッピーディスクで読み出しも書き込みもできない	3モードドライバーはインストールされていますか？（☞『操作マニュアル』「技術情報」）
上記以外の場合	他のドライブやメディアで試してみてください。

●文字入力

日本語が入力できない	タスクトレイ上に「あ」が表示されていますか？表示されていない場合は、日本語入力モードになっていません。 半角／全角 で日本語入力モードにしてください。
アルファベットを小文字で入力したいのに大文字で表示される	キーボードのCaps Lockランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合、大文字入力モードになっています。解除するには、 Shift + Caps Lock を押します。
欧文特殊文字（ßàçなど）や記号が入力できない	以下の手順で文字コード表を表示し、フォント名を指定して、入力したい文字を選んでください。 ［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［文字コード表］

●操作マニュアル

操作マニュアルを表示できない	● Adobe Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、以下の手順でインストールしてください。 ① [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選び、 「c:\util\reader\AdbeRdr60_jpn_full.exe」と入力して[OK]を選ぶ。 画面に従ってインストールしてください。 ② Adobe Readerを最新の状態にアップデートする。 インターネットに接続した環境であれば、Adobe Readerを起動し、[ヘルプ]-[更新]を選びます。 インターネットに接続できない場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選び、 「c:\util\reader\Acro-Reader_6.0.2_Update.exe」と入力して[OK]を選びます。

●ユーザーの簡易切り替え機能

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない	●ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 ・アプリケーションソフトが正しく動作しない ・画面の設定ができない ・シリアルマウスが動作しない このような場合は、簡易切り替え機能を使わずに、すべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、コンピューターを再起動してください。

●再インストール< CD ドライブを内蔵していないモデルのみ>

セットアップユーティリティに「ハードディスク リカバリー／消去」が表示されない	●ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動していませんか？ スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。 ●リカバリー用データ領域が削除されている可能性があります。 ご相談窓口にご相談ください。

●その他

応答がない	● MPEGファイル再生中に画面の切り替え（[コマンドプロンプト]の全画面表示など）を連続して行わないでください。 ●入力待ち画面（起動時のパスワード入力画面など）などが別のウィンドウで隠れていませんか？ (Alt) + (Tab) で表示されている画面を確認してください。 ● (Ctrl) + (Shift) + (Esc) を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ●電源スイッチを4秒以上押して電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、以下の項目でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。 [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]
音がでない	● Windows® Media Playerで音楽再生中にスタンバイ・休止状態機能を使うと、リジューム後再生が始まらない場合があります。この場合は、Windows® Media Playerを起動し直してください。
Windows® Media Player で動画ファイルを再生しようとすると「コーデックが必要」と表示され、再生できない	●一部の動画ファイルでは、標準でインストールされていないコーデックを使用するものがあります。その場合は、インターネットに接続してから動画ファイルを再生すると、自動的にコーデックがダウンロードされて再生できるようになる場合があります。

コンピューターの使用状態を確認する

PC情報ビューアーを使ってコンピューターの使用状態を確認し、ご相談窓口に相談されるときの情報として活用することができます。（コンピューターの管理者の権限でログオンしないと、一部「未検出」と表示される情報があります。）

● PC情報ビューアーを起動する

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[PC情報ビューアー]-[PC情報ビューアー]を選ぶ。
項目をクリックすると各項目の詳細情報が表示されます。
（PC情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。）

● 情報をファイルに保存する

表示している内容をテキスト形式（.txt）にファイル保存することができます。

1 PC情報ビューアーを起動し、保存したい情報を表示させる。
2 [保存]を選ぶ。
   - 表示されている項目を保存する場合
     「表示している情報だけ保存する」を選んで、[OK]を選ぶ。
     ウィンドウの外に隠れている部分も含めて保存できます。スクロール操作で表示位置をずらす必要はありません。
   - すべての項目を保存する場合
     「すべての情報を保存する」を選んで、[OK]を選ぶ。
3 フォルダーを指定し、ファイル名を入力して[保存]を選ぶ。

● 画面のコピーをファイルに保存する

表示している画面のコピーをビットマップ形式（.bmp）でファイル保存することができます。

1 保存したい画面を表示させる。
2 Ctrl + Alt + F8 を押す。
3 「画面のコピーを......保存しました」と表示されるので、[OK]を選ぶ。
   PC情報ビューアーの画面に隠れて[OK]が選べない場合は、ウィンドウを移動させてください。（PC情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。）

   「マイドキュメント」フォルダーに「pcinfo.bmp」ファイルが作成されます。
   「pcinfo.bmp」ファイルがある場合は上書きされます。（「pcinfo.bmp」ファイルを読み取り専用や隠しファイルに設定している場合は、保存できません。）
   - 拡張子を表示するには、エクスプローラの[ツール]-[フォルダオプション]-[表示]を選び、[詳細設定]の[登録されている拡張子は表示しない]のチェックマークを外してください。

お知らせ

- 以下の操作で画面のコピーをファイルに保存することもできます。
  [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[PC情報ビューアー]-[画面コピー]
- 工場出荷時は、Ctrl + Alt + F8 を押すと画面のコピーをファイル保存できるように設定されていますが、以下の項目で変更することもできます。
  1 「PC情報ビューアー」を選ぶ。
     [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[PC情報ビューアー]を選ぶ。
  2 [画面コピー]を右ボタンで選んで、[プロパティ]の[ショートカット]を選ぶ。
  3 「ショートカットキー」にカーソルを移動させ、ショートカットに使うキーを押す。
- 色数は、256色で保存されます。
- ダブルディスプレイモデル(またはシングルディスプレイモデルで拡張デスクトップモード)をお使いの場合、プライマリデバイス側に表示している画面を保存します。

再インストールのしかた

お客様が作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップをとっておいてください。
再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
また、ハードディスクバックアップ領域を作成していた場合も、バックアップ領域は削除され、バックアップしたデータは消去されます。（ただし、再インストールメニュー（☞ 34ページまたは 37ページ手順*2*の*3*）で「3.最初のパーティションにWindowsを再インストールする」を選んだ場合を除く。）

- データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作／誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。

● 再インストールとは

ハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールしなおす作業のことです。

● 再インストールが必要な場合

- Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できない場合
- ハードディスクを2つのパーティションに分割する場合
- ハードディスクバックアップ機能を無効にする場合

＜ CD ドライブ内蔵モデルの場合＞

再インストールの前に

●準備する

- プロダクトリカバリーCD-ROM

●以下の点を確認する

- 周辺機器は、すべて取り外してください。

●再インストールの流れ

セットアップユーティリティの設定を変更する。
▼
プロダクトリカバリーCD-ROMを使って再インストールする。（約20分）
▼
セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。
▼
Windowsのセットアップを行う。
▼
セットアップユーティリティの設定を変更する。（必要な場合のみ）
▼
インターネットに接続できる場合は、Windows Updateを行う。

再インストールのしかた

< CD ドライブ内蔵モデルの場合>

再インストールする

1 セットアップユーティリティの設定を変更する。

以下の設定を行います。
・工場出荷時の設定に戻す。
・CDドライブから起動できる設定に変更する。
お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、変更した設定をメモしておくことをおすすめします。

1 コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。

2 F9 を押す。
確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、Enter を押す。

3 「起動」メニューで[CDドライブ]を選び、F6を押して[CDドライブ]が1番目になるように設定する。

4 「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をCDドライブにセットする。

5 F10 を押す。
確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、Enter を押す。
セットアップユーティリティが終了し、コンピューターが再起動します。
● バックアップ機能を有効にしている場合
バックアップ機能が無効になり、バックアップデータは消去されますというメッセージが表示されますので、Y を押してください。

2 プロダクトリカバリーCD-ROMを使って再インストールする。

1 1 を押して「1.【リカバリー】」を実行する。

2 再インストールを実行するための条件が表示されたら、
同意する場合は 1 を押し、
同意しない場合は 2 を押す。
● 1 を押すとメニューが表示されます。
● 2 を押すと再インストールが終了します。

3 再インストールの方法を選ぶ。
● お買い上げ時の状態に戻す場合
1 を押して、「1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す」を選ぶ。
<バックアップ機能が有効になっている場合>
バックアップデータが消去されることをお知らせするメッセージが表示されたら、Y を押してください。
● パーティションを2つ(OS用とデータ用)に分割する場合
① 2 を押して、「2.OS用とデータ用の2つのパーティションを作成して、OS用パーティションにWindowsを再インストールする」を選ぶ。
<バックアップ機能が有効になっている場合>
バックアップデータが消去されることをお知らせするメッセージが表示されたら、Y を押し、再起動を促すメッセージが表示されたら、R を押して再起動してください。
② OS用パーティションのサイズ(Gバイト単位)を数字で入力し、Enter を押す。
・0(ゼロ)を入力すると、操作を中止することができます。
・設定できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。
機種により、設定できる最大のサイズは異なります。
● パーティション構成を変更せず、最初のパーティションにWindowsを再インストールする場合
3 を押して、「3. 最初のパーティションにWindows を再インストールする」を選ぶ。
・最初のパーティションのサイズは約6 Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

4 確認のメッセージが表示されたら (Y) を押す。
再インストールが始まります。

お願い

- 途中で電源を切ったり、(Ctrl) + (Alt) + (Del) を押すなどして、再インストールを中止しないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールが実行できなくなったりするおそれがあります。
- 途中で次のCDに入れ替える指示が表示されたら、画面に従ってプロダクトリカバリーCD-ROMを順にCDドライブにセットし、[OK]を選んでください。

5 「再インストールを終了しました」というメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリーCD-ROMを取り出す。

6 何かキーを押してコンピューターの電源を切る。

3 セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

Windowsを正しくセットアップするために、セットアップユーティリティを必ず工場出荷時の設定に戻してください。

1 コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されているときに (F2) を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、(Enter) を押してください。

2 (F9) を押す。
確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、(Enter) を押す。

3 (F10) を押す。
確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、(Enter) を押す。
セットアップユーティリティが終了し、コンピューターが再起動します。

4 Windowsのセットアップを行う。

(☞ 10ページ手順*8*〜11ページ手順*10*)

5 セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。

(パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。)

6 インターネットに接続できる場合は、Windows Update (☞ 21ページ) を行う。

● ドライブ文字を変更する

以下の手順でCDドライブやハードディスクドライブのドライブ文字を変更することができます。

- C:ドライブは変更できません。
- 工場出荷時、CDドライブはD:ドライブになっています。
- アプリケーションソフトをインストールする前に行うことをおすすめします。

1 [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [管理ツール] - [コンピューターの管理]を選ぶ。
2 [記憶域]の[ディスクの管理]を選ぶ。
3 ハードディスクのパーティションまたはCDドライブ名を右ボタンで選んで、[ドライブ文字とパスの変更]を選ぶ。
4 [変更]を選ぶ。
5 [次のドライブ文字を割り当てる]を選び、新しいドライブ文字を選んで、[OK]を選ぶ。
6 確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選ぶ。

再インストールのしかた

＜CDドライブを内蔵していないモデルの場合＞

再インストールの前に

● 第4エントリーにあるパーティションは、リカバリー用データ領域（☞ 22ページ）として扱われますので、ハードディスクリカバリーを起動すると削除されます。パーティションのデータは、ハードディスク以外の場所（他のメディアや外付けのハードディスクなど）にバックアップをとっておいてください。（特殊な方法でパーティションを作成すると、Windows上で見える4番目のパーティションと一致しない場合があります。）

●以下の点を確認する

- 周辺機器は、すべて取り外してください。
- ハードディスクリカバリーはダイナミックディスク（ディスク管理方式の一種）には対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。
- バックアップをとるときは、ドライブ名を確認してください。パーティションの順番やドライブ名は、パーティションの構成や周辺機器の接続、パーティションを作成したときの条件により変動します。
  確認方法の一例
  [スタート]を選び、[マイコンピュータ]を右ボタンで選んで、[管理]-[ディスクの管理]を選ぶ。

●再インストールの流れ

セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

▼

再インストールする。（約10分）

▼

Windowsのセットアップを行う。

▼

セットアップユーティリティの設定を変更する。（必要な場合のみ）

▼

インターネットに接続できる場合は、Windows Updateを行う（☞ 21ページ）。

＜CDドライブを内蔵していないモデルの場合＞

再インストールする

お願い

- ハードディスクのパーティション（領域）を変更されるお客様へ
  - ハードディスク内には、再インストールに必要なリカバリー用データを格納している領域があります。この領域は、保護のため、パーテション操作ツールなどを使った方法では表示も削除もできないようになっています。しかし、特殊な方法を使った場合は、この領域も削除されるおそれがあります。削除すると工場出荷時の状態に戻せなくなりますので、絶対に削除しないでください。（☞ 22ページ）
  - OS用も含め、パーティションは3つまでにしてください。（☞ 23ページ）

1 セットアップユーティリティの設定を工場出荷時の設定に戻す。

工場出荷時の状態から設定を変更して使っていた場合は、変更した設定をメモしておくことをおすすめします。

1 コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に (F2) を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、(Enter) を押してください。

2 (F9) を押す。
確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、(Enter) を押す。

3「終了」メニューで[設定を保存する]を選び、(Enter) を押す。

- Windowsのセットアップが完了するまでは、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。
- セットアップユーティリティが終了してコンピューターが再起動してしまった場合、1行目の「設定を保存して終了」を選んでいます。コンピューターの電源を切り、手順*1*からやり直してください。

困った時は

4 ［ハードディスク リカバリー／消去］を選び、Enterを押す。
確認のメッセージが表示されたら［はい］を選び、Enterを押す。

● バックアップ機能を有効にしている場合
バックアップ機能が無効になり、バックアップデータは消去されますというメッセージが表示されますので、Y を押してください。

2 再インストールする。

1 1 を押して「1.【リカバリー】」を実行する。

2 再インストールを実行するための条件が表示されたら、
同意する場合は 1 を押し、
同意しない場合は 2 を押す。
● 1 を押すとメニューが表示されます。
● 2 を押すと再インストールが終了します。

3 再インストールの方法を選ぶ。
● お買い上げ時の状態に戻す場合
1 を押して、「1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す」を選ぶ。
<バックアップ機能が有効になっている場合>
バックアップデータが消去されることをお知らせするメッセージが表示されたら、Y を押してください。
● パーティションを2つ（OS用とデータ用）に分割する場合

お知らせ
● パーティションを2つに分割すると、バックアップ機能を有効にすることはできません。（☞ 39 ページ）

① 2 を押して、「2.OS用とデータ用の2つのパーティションを作成して、OS用パーティションにWindowsを再インストールする」を選ぶ。
<バックアップ機能が有効になっている場合>
バックアップデータが消去されることをお知らせするメッセージが表示されたら、Y を押してください。
② OS用パーティションのサイズ（Gバイト単位）を数字で入力し、Enter を押す。
・ 0（ゼロ）を入力すると、操作を中止することができます。
・ 設定できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。（機種により、設定できる最大のサイズは異なります。）

● パーティション構成を変更せず、最初のパーティションにWindowsを再インストールする場合
3を押して、「3.最初のパーティションにWindowsを再インストールする」を選ぶ。
・最初のパーティションのサイズは約6 Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

4 確認のメッセージが表示されたら Y を押す。
再インストールが始まります。

お願い
● 途中で電源を切ったり、Ctrl + Alt + Del を押すなどして、再インストールを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失して再インストールが実行できなくなったりするおそれがあります。

5「再インストールを終了しました」というメッセージが表示されたら、何かキーを押してコンピューターの電源を切る。

3 コンピューターの電源を入れ、Windowsのセットアップを行う。
（☞10ページ手順8〜11ページ手順10）

4 セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。
（パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。）

5 インターネットに接続できる場合は、Windows Update（☞ 21ページ）を行う。

ソフトウェア使用許諾書

第1条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルやCD-ROMなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第4条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、本コンピューター1 台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第5条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第6条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第7条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

第8条　輸出管理
お客様が、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国内外の輸出管理に関する法規を順守してください。

ハードディスクバックアップ機能

ハードディスクバックアップ機能とは、ハードディスク上にバックアップ領域（保護領域）を作成して、ハードディスクの内容のバックアップ（保存）や、バックアップした内容のリストア（復元）を行う機能です。他のメディアや周辺機器を使わずに、本機のみでハードディスクの内容をバックアップ／リストアすることができます。
定期的にバックアップを行っておけば、操作ミスでデータを消してしまった場合などに、ハードディスクの内容を最後にバックアップを行ったときの状態に戻すことができます。
工場出荷時、ハードディスクバックアップ機能は無効になっています。バックアップ領域を作成するとハードディスクバックアップ機能は有効になり、データをバックアップできるようになります。ただし、一度バックアップ機能を有効にした後、無効にするには、再インストールが必要です。（☞ 33ページ）

> ハードディスクバックアップ機能は､データのバックアップ時やリストア時にハードディスクに問題があると､正常にバックアップ／リストアが行われません｡また､予期せぬ誤動作／誤操作など、データのリストア中にエラーが発生した場合、ハードディスク内のお客様のデータ（リストア前のデータ）は失われますのでご注意ください。
>
> 本バックアップ機能の使用により生じたお客様の損害（データの消失を含む）については補償いたしかねます。

ハードディスクバックアップ機能を使用する前に

■ 準備する

<CDドライブ内蔵モデルのみ>

●プロダクトリカバリーCD-ROM

■ 以下の点を確認する

- 周辺機器はすべて取り外してください。特に、USBフロッピーディスクドライブやUSB接続のCDドライブを接続したままでは、バックアップ領域が正常に作成できない場合がありますので、必ず取り外してください。
- パーティションを分割する場合は、バックアップ領域作成時に選択してください。（☞ 41ページ 手順⑥）
- ハードディスクを複数のパーティションに分割していると、バックアップ領域を作成することができません。工場出荷時の状態（1つのパーティション）に戻してから、バックアップ領域を作成してください。
- バックアップ領域作成後にパーティション構成の変更（作成やサイズ変更など）を行うと、バックアップすることができなくなります。変更する場合は、工場出荷時の状態に戻してから、再度バックアップ領域を作成してください。
- ハードディスクバックアップ機能は､内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには、バックアップ／リストアすることはできません。
- ハードディスクが損傷していると、バックアップ／リストアすることができません。
- NTFSファイルシステムの圧縮機能を使用しないでください。バックアップ領域の容量が足りなくなる場合があります。
- ハードディスクが故障した場合には、データなどが読み出せなくなりますので、あらかじめ、ハードディスク以外の場所（他のメディアや外付けのハードディスクなど）にも、データをバックアップしておいてください。
- 次の手順でディスクのエラーチェックを行ってください。
  ①Cドライブのプロパティを表示する。
  [スタート]-[マイコンピュータ]の[ローカルディスク（C:)]を右ボタンで選び､[プロパティ]を選ぶ。
  ②[ツール]から[チェックする]を選ぶ。
  ③[チェックディスクのオプション]で、どの項目にもチェックマークを付けずに[開始]を選ぶ。
  ディスクにエラーがあることを示すメッセージが表示された場合、再度[チェックディスクのオプション]を表示し、「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」と「不良セクタをスキャンし、回復する」にチェックマークを付け、[開始]を選んで、ディスクのエラーチェックを行ってください。
- ハードディスクバックアップ機能はダイナミックディスクには対応しておりません｡ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

お知らせ

- バックアップ領域について
  - ハードディスク全体の半分以上の空き容量が必要です。空き容量が足りないと､バックアップ領域を作成することができません。
  - バックアップ領域が作成されると､使用できるハードディスクの容量は半分以下になります。
  - バックアップ領域は、Windows上からはアクセスすることができません。このため、バックアップしたデータを、CD-Rなど外部のディスクにコピーすることはできません。
  - ハードディスクバックアップ機能では、バックアップ領域のデータを上書きします。バックアップした後に作成／編集したデータを、さらにバックアップすると、前回バックアップ領域に保存したデータは失われます。

ハードディスクバックアップ機能

バックアップ領域を作成する

お願い

- 手順⑨の「バックアップが終了しました。」というメッセージが表示されるまで、電源を切ったり、(Ctrl)＋(Alt)＋(Del)を押さないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失してバックアップ領域が作成できなくなったりするおそれがあります。

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に(F2)を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力し、(Enter)を押してください。ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。

＜CDドライブ内蔵モデルの場合＞
②「起動」メニューで[CDドライブ]を選び、(F6)を押して[CDドライブ]が1番目になるように設定する。

③「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をCDドライブにセットし、(F10)を押す。
確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、(Enter)を押してください。
セットアップユーティリティが終了し、コンピューターが再起動します。（手順④へ）

＜CDドライブを内蔵していないモデルの場合＞
②「終了」メニューで[ハードディスク リカバリー／消去]を選び、(Enter)を押す。

③ 確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、(Enter)を押す。
パスワードが設定されている場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力して、(Enter)を押してください。

以下の場合は、ご相談窓口にご相談ください。（☞50ページ） ・「ハードディスク リカバリー／消去」が表示されない ・ 再インストール用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される ハードディスク内のリカバリー領域が削除されていたり、バックアップの作成／復元に必要なファイルが壊れていたりする場合があります。

- パーティションテーブルの第4エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合
  - すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合[はい]を選ぶ。
    パーティションは消去されます。
  - まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合[いいえ]を選ぶ。
    操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておき、工場出荷時の状態（1つのパーティション）に戻してから、バックアップ領域を作成してください。

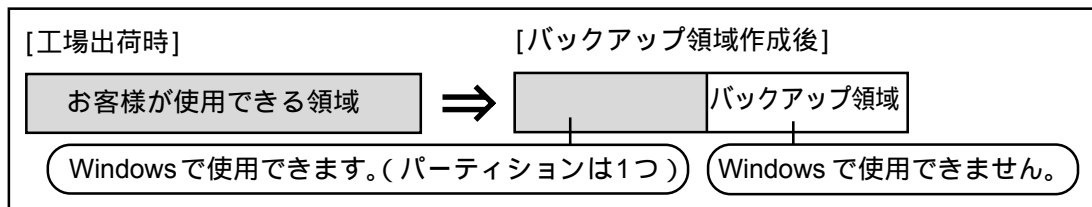
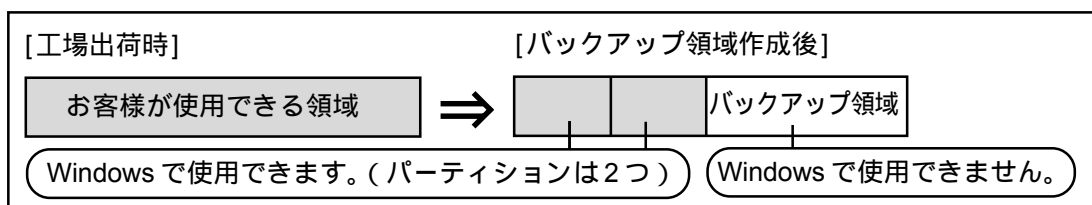
④ (3)を押して「3.【バックアップ】」を選ぶ。

お願い

- パーティションを分割する場合
  「1.【リカバリー】」を実行してパーティションを分割しないでください。パーティションを分割した後では、バックアップ機能を有効にすることができません。パーティションを分割する場合は、手順⑥を参照してください。

⑤ 確認画面で(Y)を押す。

⑥ **メニューから、ハードディスクの分割方法を選ぶ。**

● **バックアップ領域を作成し、パーティションは分割しない場合**
　「1」を選んでください。

● **バックアップ領域を作成し、さらにOS用とデータ用の2つのパーティションに分割する場合**
　「2」を選び、OS用パーティションのサイズ(Gバイト単位)を数字で入力して、 Enter を押してください。
- **0(ゼロ)を入力すると、操作を中止することができます。**
- **設定できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。機種により、設定できる最大のサイズは異なります。**

⑦ **確認のメッセージが表示されたら Y を押す。**
　バックアップ領域が作成されます。

＜CDドライブ内蔵モデルの場合＞

⑧ **「バックアップ機能を有効にするためには再起動が必要です。」というメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリーCD-ROMを取り出し、何かキーを押して、コンピューターを再起動する。**
　引き続きバックアップが始まります。(手順⑨へ)

＜CDドライブを内蔵していないモデルの場合＞

⑧ **「バックアップ機能を有効にするためには再起動が必要です。」というメッセージが表示されたら、何かキーを押して、コンピューターを再起動する。**
　引き続きバックアップが始まります。(手順⑨へ)

⑨ **「バックアップが終了しました。」というメッセージが表示されたら、Ctrl + Alt + Del を押してコンピューターを再起動する。**

⑩ **Windows にログオンした後、新しいデバイスがインストールされ、その設定を有効にするためにコンピューターを再起動する必要があることをお知らせするメッセージが表示されますので、[はい]を選んで再起動する。**

お知らせ

● **バックアップ領域を作成すると、セットアップユーティリティの「終了」メニューに「ハードディスクバックアップ／リストア」が表示されます。次回、バックアップおよびリストアを実行するときは、このメニューを使用します。詳しくは「バックアップ／リストアする」(☞ 42ページ)をご覧ください。**

＜CDドライブ内蔵モデルの場合＞

● **セットアップユーティリティの「起動」メニューが、CDドライブから起動する設定になっています。必要に応じて変更してください。**

ハードディスクバックアップ機能

バックアップ／リストアする

お願い

- バックアップを実行する前に、ディスクのエラーチェックを行ってください。(☞ 39ページ)
- 途中で電源を切ったり、(Ctrl) + (Alt) + (Del) を押すなどして、バックアップ／リストアを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失してバックアップ／リストアが実行できなくなったりするおそれがあります。

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に (F2) を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力して、(Enter) を押してください。

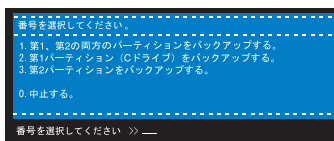
②「終了」メニューで［ハードディスクバックアップ／リストア］を選び、(Enter) を押す。

確認のメッセージが表示されたら［はい］を選び、(Enter) を押す。

<CDドライブを内蔵していないモデルの場合>
- パーティションテーブルの第4エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合
  - すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合［はい］を選ぶ。
    パーティションは消去されます。
  - まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合［いいえ］を選ぶ。
    操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。
    あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておいてください。

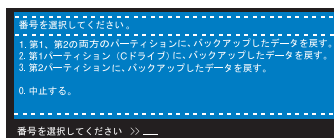
③ メニューから、実行する操作を選ぶ。
- ハードディスクの内容をバックアップ領域にバックアップする場合

*1

番号を選択してください。
1. 第1、第2の両方のパーティションをバックアップする。
2. 第1パーティション（Cドライブ）をバックアップする。
3. 第2パーティションをバックアップする。
0. 中止する。
番号を選択してください >> _

(1) を押して「1.【バックアップ】」を実行する。
（ハードディスクを2つのパーティションに分割している場合、続けて、画面(*1)が表示されます。バックアップの方法を選んでください。）

確認画面で (Y) を押す。
バックアップが始まります。

- バックアップ領域に保存した内容をハードディスクに戻す場合

*2

(2) を押して「2.【リストア】」を実行する。
（2つのパーティションでバックアップしている場合、続けて、画面(*2)が表示されます。リストアの方法を選んでください。）

↓

確認画面で (Y) を押す。
リストアが始まります。

※ バックアップ（またはリストア）にかかる時間は、データ量によって異なります。

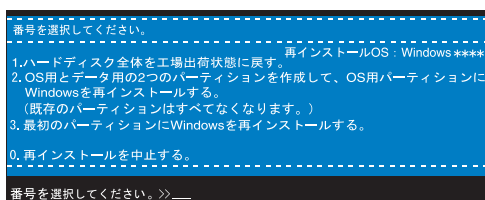
④「バックアップが終了しました。」または「リストアを終了しました。」というメッセージが表示されたら、Ctrl + Alt + Del を押してコンピューターを再起動する。

- バックアップ／リストアの途中で電源が切れた場合などは、再度実行してください。
- Windowsにログオンした後､新しいデバイスがインストールされ、その設定を有効にするためにコンピューターを再起動する必要があることをお知らせするメッセージが表示された場合は、[はい]を選んで再起動してください。

お願い

- ハードディスクバックアップ機能を有効にしている状態では、お客様がアクセスできる領域内のすべてのデータを市販のデータ消去ユーティリティなどを使って消去しても、バックアップされたデータは消去されません。本機に搭載されているハードディスクデータ消去ユーティリティ（☞ 44ページまたは45ページ）を使うと、バックアップされたデータを含むハードディスク内のデータを消去することができます。本機を破棄または譲渡する場合は、ハードディスクデータ消去ユーティリティをご使用ください。
- バックアップの途中、まれに「#1805 イメージファイルが書けません」というエラーメッセージが表示され、バックアップが中断されることがあります。このエラーが発生した場合には、再度バックアップを実行してください。再度バックアップを実行し、バックアップが正しく終了すれば、ハードディスクに問題はありません。

ハードディスクバックアップ機能を無効にするには

再インストールを行う必要があります。バックアップ領域およびハードディスク内のデータは消去されます。
「再インストールする」（☞ 34ページまたは37ページ）の手順*2*の*2*までを行い、再インストールを実行するための画面が表示された後、以下の画面が表示されますので、「1」または「2」を選んで再インストールしてください。

- 「1」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることができます。
- 「2」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることはできますが、パーティションが分割されるため、再度ハードディスクバックアップ機能を有効にすることができません。
- 「3」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることができません。

ハードディスクの内容をすべて消去する

< CD ドライブ内蔵モデルの場合>

ハードディスクデータ消去ユーティリティを利用すれば､内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去できます。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客様の損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

●準備する

- プロダクトリカバリー CD-ROM

●以下の点を確認する

- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。
- バックアップ領域およびバックアップデータが消去されます。

データをすべて消去する

1 コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードが設定されている場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。

2 「起動」メニューで[CDドライブ]を選び、F6 を押して[CDドライブ]が1番目になるように設定する。

3 「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をCDドライブにセットする。

4 F10 を押す。
確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、Enter を押す。
コンピューターが再起動します。
以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されたら、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。
<バックアップ機能を有効にしている場合>
バックアップ機能が無効になり、バックアップデータが消去されますというメッセージが表示されますので、Y を押してください。

5 2 を押して「2.【HDD消去】」を実行する。
（0（ゼロ）を押すと、操作を中止することができます。）
<バックアップ機能を有効にしている場合>
バックアップ機能が無効になり、バックアップデータが消去されますというメッセージが表示されますので、Y を押してください。続いて再起動を促すメッセージが表示されますので、R を押して再起動してください。

6 確認のメッセージが表示されたら、Y を押す。
ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。

7 「<<<スタートメニュー>>>」で Enter を押す。

8 消去にかかるおおよその時間が表示されたら、Space を押す。

9 確認のメッセージが表示されたら、Enter を押す。
ハードディスクのデータ消去が開始されます。
(万一、途中でデータ消去を中断する場合は、Ctrl + C を押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。)

10 完了のメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリーCD-ROMを取り出す。
何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

11 何かキーを押してコンピューターの電源を切る。

< CD ドライブを内蔵していないモデルの場合>

ハードディスクデータ消去ユーティリティを利用すれば、内蔵ハードディスク（リカバリー用データ領域を除く）に保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去できます。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客様の損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

●以下の点を確認する

- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。
- バックアップ領域およびバックアップデータが消去されます。
- リカバリー用データは消去されません。

データをすべて消去する

1 **コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。**
パスワードが設定されている場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。ユーザーパスワードでは「起動」メニューを変更できません。

2 **「終了」メニューで[ハードディスク リカバリー／消去]を選び、Enter を押す。**

3 **確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、Enter を押す。**
パスワードが設定されている場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力して、Enter を押してください。

以下の場合は、ご相談窓口にご相談ください。（☞ 50 ページ）
・「ハードディスク リカバリー／消去」が表示されない
・再インストール（またはリカバリー）用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示されるハードディスク内のリカバリー用データ領域が削除されていたり、再インストールに必要なファイルが壊れていたりする場合があります。

- パーティションテーブルの第 4 エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合
  - すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合[はい]を選ぶ。
    パーティションは消去されます。
  - まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合[いいえ]を選ぶ。
    操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておいてください。（☞ 33 ページ）
- バックアップ機能を有効にしている場合
  バックアップ機能が無効になり、バックアップデータは消去されますというメッセージが表示されますので、Y を押してください。

ハードディスクの内容をすべて消去する

4 「番号を選択してください」というメッセージが表示されたら、(2)を押して「2.【HDD消去】」を実行する。
((0)（ゼロ）を押すと、操作を中止することができます。)
● バックアップ機能を有効にしている場合
バックアップ機能が無効になり、バックアップデータは消去されますというメッセージが表示されますので、
(Y) を押してください。

5 確認のメッセージが表示されたら、(Y) を押す。
ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。

6 「<<<スタートメニュー>>>」で (Enter) を押す。

7 消去にかかるおおよその時間など、メッセージの内容を確認してから (Space) を押す。

8 メッセージの内容を確認してから (Enter) を押す。
ハードディスクのデータ消去が開始されます。
(万一、途中でデータ消去を中断する場合は、 (Ctrl) + (C) を押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。)

9 「ハードディスクのデータは消去されました」というメッセージ表示されます。
何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

10 何かキーを押してコンピューターの電源を切る。

仕様　日本国内専用

●本体仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

機種名		CF-82J1AXS/ CF-82K1AXS	CF-82J5AXS/ CF-82K5AXS	CF-82K5NDXS
CPU		Intel® Pentium® 4 プロセッサ 2.8 GHz	Intel® Celeron® D プロセッサ 2.66 GHz	
キャッシュメモリー(L2)		512 Kバイト[*1]	256 Kバイト[*1]	
搭載メモリー		256 Mバイト[*1]（DDR-SDRAM、333 MHz対応）（最大512Mバイト[*1*2]）		
ビデオメモリー		最大64 Mバイト[*1*3]（メインメモリーと共用）		
LCD	タイプ	15型TFTカラー液晶、XGA対応		
	解像度（表示色数）	1,024 × 768ドット（最大1,677万色）		
外部ディスプレイ （シングルディスプレイモデルのみ）		800 × 600ドット/1,024 × 768ドット/1,280 × 1,024ドット/1,600 × 1,200ドット（65,536色/約1,677万色）		
ハードディスクドライブ		約40 Gバイト[*4]		
フロッピーディスクドライブ（3モード対応[*5]）		720 Kバイト[*1]/1.2 Mバイト[*6]/1.44 Mバイト[*6]		———
CDドライブ		CD-ROMドライブ(最大24倍速[*7])		———
スロット	PCカードスロット	Type I（Type II）×2スロット内蔵（Type III×1スロットとして使用可能） 許容電流（2スロット合計）3.3 Vまたは5 V：400 mA、12 V：120 mA		
	RAMスロット	2スロット（200ピン、2.5 V対応、DDR-SDRAM）（1スロット装着済み）		
インター フェース	外部ディスプレイコネクター	ミニDsub 15ピン（シングルディスプレイモデルのみ）		
	パラレルコネクター	ECP対応Dsub 25ピン		
	シリアルコネクター	RS-232C Dsub 9ピン		
	オーディオ出力端子	ステレオミニジャック（ヘッドホン出力）		
	マイク入力端子[*8]	ミニジャック		
	キーボード端子	PS/2タイプ　ミニDIN 6ピン		
	マウス端子	PS/2タイプ　ミニDIN 6ピン		
	LANコネクター[*9]	RJ-45　100BASE-TX/10BASE-T		
	USBコネクター[*10]	Universal Serial Bus 2.0準拠　4ピン　×　4		
スピーカー		モノラルスピーカー（内蔵）		
サウンド機能		PCM音源(16ビットステレオ)		
電源入力		AC 100 V、50 Hz/60　Hz		
消費電力[*11]／ エネルギー 消費効率[*12*13]	シングルディスプレイモデル	最大　約120　W[*14]／R区分（Intel® Pentium® 4）0.00028（Intel® Celeron® D）0.00021、(社)電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：120W		
	ダブルディスプレイモデル	最大　約140　W[*14]／R区分（Intel® Pentium® 4）0.00028（Intel® Celeron® D）0.00021、(社)電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：140W		
外形寸法	シングルディスプレイモデル	349 mm × 333 mm × 200 mm（幅×高さ×奥行き）		
	ダブルディスプレイモデル	717 mm × 333 mm × 200 mm（幅×高さ×奥行き）		

[*1] 1 Kバイト=1,024バイト。 1 Mバイト=1,048,576バイト。
[*2] 推奨RAMモジュール（256 Mバイト）を使用した場合。
[*3] コンピューターの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。
[*4] 1 Gバイト=1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGバイト表示される場合があります。
[*5] 1.2 Mバイトへの対応には、ドライバーのインストールが必要です。Windows XPの場合、OSの制限により、1.44 Mバイト以外のフォーマットはできません。
[*6] 1 Mバイト=1,024,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でMバイト表示される場合があります。
[*7] 当社測定による。転送速度は内周で約10.3倍速、外周で約24倍速です。
[*8] コンデンサー型モノラルマイクロホンのみ使用できます。
[*9] コネクターの形状によっては使用できないものがあります。
[*10] USB対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
[*11] 消費電力は、シングルディスプレイモデル／ダブルディスプレイモデルによって変わります。
[*12] エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
[*13] CPUの種類によって変わります。
[*14] 電源オフで、電源コードを接続している状態では、約1.2 Wの電力を消費します。（LAN Wake Up機能（☞『操作マニュアル』「LAN機能」）を有効に設定している場合で、スタンバイまたは休止状態にしたときは約2 W）

※シングルディスプレイモデルにディスプレイを増設して、ダブルディスプレイモデルに変更することはできません。

仕様

機種名		CF-82J1AXS/ CF-82K1AXS	CF-82J5AXS/ CF-82K5AXS	CF-82K5NDXS
質量	シングルディスプレイモデル	約6.9 kg		―――
	ダブルディスプレイモデル	約11.4 kg		約10.8 kg
使用環境条件		温度：5 ℃～35 ℃　湿度：30 %～80 % RH（結露なきこと）		

●付属品仕様

キーボード	JIS準拠／109Aキーボード
ポインティングデバイス	PS/2マウス（ホイール機能付き）

●導入済みソフトウェア

OS	Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載（NTFSファイルシステム） Microsoft® Windows® Media Player 9.0 DirectX 9.0c
ユーティリティープログラム	セットアップユーティリティ DMIビューアー USERボタンモニター ディスプレイアシスト[*1] Adobe Reader PC情報ビューアー ハードディスクデータ消去ユーティリティ[*2] ハードディスクバックアップユーティリティ[*2]

[*1] ダブルディスプレイモデルのみ。
[*2] CDドライブ内蔵モデルの場合、プロダクトリカバリーCD-ROMが必要です。
CDドライブを内蔵していないモデルの場合、セットアップユーティリティから実行します。

重要なお知らせ

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器／装置／システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器／装置／システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障／修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化／消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、「上手にお使いいただくために」（☞ 19ページ）の内容に注意してください。

・本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
・落丁、乱丁はお取り替えします。
・本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
・本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
・漏洩電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、「サポートデスク」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

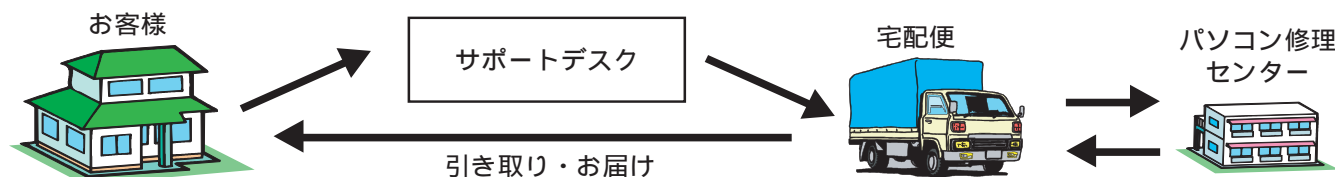
■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるとき

「困ったときのQ&A」（☞本書および『操作マニュアル』）に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、サポートデスクへご連絡ください。
修理時に、当社指定の宅配業者が専用梱包箱を持ってパソコン修理品の引き取りにお伺いし、修理が完了した後、直ちに宅配業者がお届けする、早くて便利な修理サービスを実施しております。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご準備いただき、サポートデスクにご相談ください。また、引き取り修理の送料は当社が負担させていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。また、引き取り修理の送料はお客様のご負担となります。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・送料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
送料 は、お客様のご依頼により修理品を引き取り、またはお届けする場合の費用です。

● ご連絡いただきたい内容

製品名	パーソナルコンピューター
品番	保証書に記載されています。（例：CF-82J1AXS）
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.biz/pc/support/index.html

修理に関するご相談

サポートデスク

電　話 フリーダイヤル 0120-05-8729

受付時間　祝日および年末年始（12/30〜1/4）を除く月曜日から金曜日
9時〜17時30分

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話 フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック）

ＦＡＸ (06)6905-5079

365日／受付9時〜20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

（日本国内からのお問い合わせのみ）2005年2月1日現在

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナルパナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Panasonic パーソナルコンピューター CF-82シリーズ 取扱説明書

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検　長年ご使用のコンピューターの点検を！

こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った	▶	このような症状の時は故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグを抜いて、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	販売店名	☎(　　　)　　　―

松下電器産業株式会社　ITプロダクツ事業部

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

SS0205-0

DFQM5593ZA